

黙示録 1 章 7 節-13 節 スタディーガイド



黙示録 1 章 7 節

見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

黙示録のもう一つの題名は、キリストのご再臨です。

■すべての目が主を見る■

1. ゼカリヤ書 12 章 3 節で、地のすべての国々
2. ゼカリヤ書 12 章 10 節で、彼を突き刺した者たちであるユダヤ人
3. ゼカリヤ書 14 章 5 節で、すべての聖徒たち
4. マタイの福音書 16 章 27 節で、御使いたち
5. ヨハネの福音書 19 章 37 節で、「自分たちが突き刺した方を見る」というユダヤ人
6. ユダの手紙 1 章 14 節で、千万の聖徒
7. ヨハネの黙示録 19 章 14 節で、天の軍勢たち



黙示録 1 章 8 節

神である主、今いまし、昔いまし、後に来られる方、万物の支配者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

神である主、今いまし、昔いまし、後に来られる方

アルファであり、オメガである

ギリシャ語アルファベットの最初の字と最後の字、そしてその中間にある字、すべてであるお方。

■ 黙示録で最も大切な4つのこと ■

1. 預言の成就是、御子イエスによって成就していること。
2. 預言は、実際に御子イエスを通して成就しなければならないこと。
3. すべて、靈的なことや象徴的なことではなかった。
ご再臨も実際に起こること。
千年王国の御国も必ず訪れること。
4. すべての従う者に祝福をお与えになるお方で、従わない者は、この祝福を永遠に逃してしまうこと。
すべてが、イエス・キリストに従うか従わないかにかかっています。
すべてのすべてですから、万物の支配者である主はアルファでありオメガなのです。

★ 黙示録 1 章 9 節

私ヨハネは、あなたがたの兄弟であり、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐とにあずかっている者であって、神のことばとイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。

パトモス島については、黙示録のイントロダクションでお話ししましたので、ここでは省きます。

イエスにある苦難と御国と忍耐とにあずかっている者

神のことばとイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた
現在のトルコの地域になります。

★ 黙示録 1 章 10 節-11 節

私は、主の日に御霊に感じ、私のうしろにラッパの音のような、大きな声を聞いた。その声はこう言った。「あなたの見ることを巻き物にするして、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤに送りなさい。」

主の日

ラッパの音のような大きな声を聞いた

あなたの見ることを巻き物にしるして、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤに送りなさい

7つの教会に送るメッセージが、黙示録2章と3章に記されていますので、一つ一つの教会を細やかに見ていきます。



黙示録1章12節-13節

そこで私は、私に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。それらの燭台の真ん中には、足までたれた衣を着て、胸に金の帯を締めた、人の子のような方が見えた。

振り向くと、七つの金の燭台が見えた

燭台は、出エジプト記25章31節から40節では、一つの台に7本の枝があり、7つのともしびがともされる燭台が作られ、それが幕屋の聖所に置かれました。

七つの金の燭台が見えた

幕屋や神殿に置かれた燭台と同じようなものが、7本見えています。

燭台の真ん中には、足までたれた衣を着て、胸に金の帯を締めた、人の子のような方が見えた

長い衣を着て金の帯を締めているのは、大祭司のお姿です。



ヘブル人への手紙2章17節-18節

……神のことについて、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。それは民の罪のために、なだめがなされるためなのです。主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることがおできになるのです。

忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。

主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることがおできになるのです。

★ ヘブル人への手紙 9 章 11 節-12 節

しかしキリストは、……この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです。

手で造った物でない、言い替えれば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り

モーセの幕屋や、人間が造った神殿ではありません。

ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです

天にある幕屋で、神の子羊であるイエス様は、ただ一度だけで永遠のいけにえとなりました。

◆MEMO◆